

牛久市行政改革推進委員会		日時	平成31年2月19日（火曜日）
件名	平成30年度第1回牛久市行政改革推進委員会	場所 時間	牛久市役所本庁舎4階第6会議室 10:00～11:35
作成年月日	平成31年3月7日（木曜日）	作成	事務局 北辻
出席者	（会長、副会長）宮原会長、岡本副会長 （委員）本郷委員、飯田委員、田中委員、八島委員、本橋委員、鈴木委員、山越委員、柳井委員 （事務局）経営企画部 吉田次長、政策企画課 柳田課長、中島課長補佐、関根主査、北辻主事		
議事内容	・委員委嘱について ・行政改革推進委員について ・会長・副会長の選任について ・管理指標の進捗状況について ・今後の活動計画について（案）		
会 議 内 容 等			
<p>◆委員委嘱について 各委員への委員委嘱、自己紹介を行った。</p> <p>◆行政改革推進委員について 特に意見無し。</p> <p>◆会長・副会長の選任について 事務局案を採用とし、会長を宮原委員、副会長を岡本委員とする。</p> <p>◆管理指標の進捗状況について 【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口がこれから減少していくことが見込まれている中、退職金増等に伴う人件費増加は厳しい状況である。また、行政区加入率の低下を問題視している。以前は、5、6部屋の小規模アパートでも班長を1人出してもらっていたが、不動産会社への協力も難しくなっている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒牛久市においては、転入手続きの際に行政区への加入をお願いしているところではあるが、加入率低下に歯止めがかかっていない。</li> <li>⇒宅建業全体でも何か協力できることがないか、商工会においても反省が出来たらと思う。</li> </ul> </li> <li>・今後の開催頻度はどの程度のものになるのか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒第7次大綱の策定にあたり、委員の皆さまにご意見をいただくため、ある程度の回数を行う予定。</li> </ul> </li> </ul>			

- ・当委員会の立ち位置、権限はどのようなものなのか。
  - ⇒内部機関である行政改革推進本部において大綱案を作成して、その大綱案を基にして委員の皆さまに諮問を行い、その場でご審議していただく場となる。最終的には、推進本部に対して答申を行う。具体的な事業の意見も有難いが、考え方や大きい枠組みの提言をいただければと思う。
- ・議題が決まっている際、その資料は事務局で用意をするのか。
  - ⇒事務局で用意をする。
- ・「第6次行財政改革大綱」の改訂内容を教えて欲しい。
  - ⇒管理指標を部分的に見直した。「実質公債費率」、「積立金残高比率」、「常勤職員数」の3つの改訂を行った。
- ・第5次大綱と第6次の内容は同じなのか。
  - ⇒基本方針は変更せずに、管理指標の見直しを行った。
- ・ボリュームゾーンの退職に伴い、退職金が増加し、人件費増加の要因になっていると説明があったが、その特殊要因を除いた場合、人件費はどのような傾向になるのか。
  - ⇒次回回答とする。
- ・各部門ごとの総括をお願いしたい。
  - ⇒次回回答とする。
- ・キャリアアップのために、定期的に他部署への異動があるが、長年同じ部署に勤める専門がいないと継承ができてないと思う。
  - ⇒建築系専門職の人手不足がある。職員の育成方針については、次回回答とする。
- ◆今後の活動計画について（案）
  - ・事務局で調整の上、後日委員に通達する。